令和５年度 第１回いじめ対策総点検について

令和５年度 第１回いじめ対策総点検 学校訪問が下記の通り実施されました。

１ 日 時　令和５年10月３日（火）10：00～12：00

２ 出席者　（県教育委員会）生徒指導課 指導主事
　　（学　　校）校長、教頭、いじめ対策推進教員 、生徒指導主事、各学年教諭

３ 内 容

（１）いじめ総点検チェックシートの確認

○ 学校の組織力の強化について
○ 教職員の意識改革と指導力・対応力の向上について
○ 相談しやすい体制について
○ 保護者との連携について
○ 未然防止について

（２）グループワーク（シミュレーション）

○ いじめと疑われる事案に対して、場面ごとの組織的対応の流れを確認

４ 指導事項

○ 事案内容を情報共有する際は、校務支援システムの活用も検討するとよい。
○ 生徒の面談では話す内容を鵜呑みにせずに、いじめ事案の背景を見極め、隠れた事実があることを念頭に聴き取りを行うことが必要である。
○ 会議や対応の記録を残すことについて、司会や記録係など役割分担をするとよい。
○ 組織力を強化するため、いじめ対策推進教員は管理職と連携してマネジメントにあたり、スクールカウンセラーを加えたチーム支援で適切な対応をとる。
○ 児童ポルノやネットトラブルの事案は積極的に警察と連携する。
○ 日々の教育活動のあらゆる場面を捉え、生徒の自己肯定感を高め、生徒が自発的にピアサポートできる環境づくりが必要である。
○ 生徒指導、いじめに関する校内研修ついては、「様々な案件に応じたシミュレーションを行い、相談し合う環境づくり」をねらいとした内容も有効である。
○ 面談では生徒が対応職員を選べるなど工夫し、様々な角度から自分の気持ちを掬い上げることができるよう、相談しやすい体制を整える。

今回のいじめ対策総点検における指導を生かし、今後もいじめを許さない学校づくりに向けて情報共有に努め、学校と家庭と連携しながら組織的に対応してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。